



今月の援農状況

Let's Activate Area AGRI

- 梅剪定のお手伝いの依頼をいただきました。農家さんから指導をいただきながらの作業ですが かなり高度な技術が必要です。ときあたかも青梅市方面では梅の難病(プラムボックスウィルス)が発生し 八王子市でも特別対策を展開中とのこと 早期決着が期待されています。
- 草取り・ポット作業・野菜出荷お手伝いなど 寒さの中 継続中。

全国紙広告より 「食卓と自然の共生」 全農

四季のある日本は食材の宝庫です。
季節の便りが自然の恵みを届けてくれます。
田畑は土のやさしさに励まされて 旬のおいしさを実らせてきました。
それと同時に 産地は自然の営みのなかで
日本の伝統文化をじっくりと育ててきました。
そこは人と産地がともに生きる場所。
暮らしの喜びなど豊かさが広がるどころです。
産地から食卓へ。



私たち JA 全農は 自然の恵みを携えて 人と自然をつなぎます。

農園・SPP・イベント 便り — 農家の計画・管理・指導もとの主体的耕作応援 —
(技術体得・会員交流・遊休地対応をめざして)



上川口 冬景色

すずらん 春めく畑



◆上川口

2/15の定例作業日に 蛙の大きな卵塊が二つ トンボ池に早くも確認できました。例年以上の山椒魚の産卵も期待。

◆カ石

スナックエンドウ500株ほどが 支柱作業を待っています。

◆根付け

うまいさつま芋の栽培を目指して 今年「土の管理」に配慮して 取り組む計画。いかにして肥料をぬいた土地を作るか。

◆すずらん

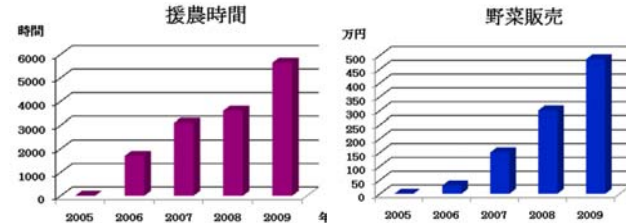
ニンニクが元気にそだっています。肥料と土寄せが大玉収穫のポイントとか。もうひとつの成功事例? を作り出したい。

「大根も 干してありけり 無人駅」 (NHK)

第五事業年度総会

2月7日(日)10時より 台町市民センターで開催されました。

- 活動実績の報告・新年度活動計画(含 予算)の承認をいただきました。



- 新たに「家族会員」が新設されました。1500円+500円×人数
- 「援農ボランティア活動」を基本活動として再確認しこの拡充に努めます。
- 「市民農園」の開設にとりくみます。
- 学校給食への野菜納品を拡充するため 人材の確保等につき配慮していきます。

- 農業の活性化・農の裾野の拡張に寄与するため三本柱での活動を推進していきます。
- ◎ 当日 午後より 野島和之様による講演会「農業歳時記」が開催されました。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

- (1) 「21世紀は 食料とエネルギーと水の争奪のとき」
「飽食の時代」・「もったいない」— 食をめぐるさまざまな表現のさらに先のテーマとして最近目立ち始めた表現。世界と人類に課せられた話題。さて我ら一人ひとり何を為せるか。
- (2) 「国産食料エコポイント制」
昨年よりスタートしたエコポイント制度は ひとつの成果をおさめつつある中で その成功事例を農業にも拡張できないかとの識者の発言。「徴農制」という珍しい言葉も。
- (3) 「ランドラッシュ」 (Land Rush)
食料生産の一番のベースは土地 — 自国の土地は当然として 外国の 特にアフリカの土地を まず確保しておこうとの動きが急速に始まっているとか —NHK スペシャル—

事務局からのお知らせ 人材—農家需要 と市民意欲のマッチング

- (1) 啓蟄 — いよいよ春です
落ち葉とぬかを踏み込んで すずらん畑に苗床を作っています。少し早目のさつま等の苗づくりをめざしています。水やりがポイントとなりそうです。
- (2) 市民企画事業公開シンポジウム
5年連続しての市民企画事業への指名をいただくため 2/6 北野市民センターでの公開シンポジウムに臨みました。長井・飛田両氏より発表。
- (3) 食育シンポジウム 「八王子の食育をどうすすめるか」
2/13 クリエイトホールで開催され パネラーの中西農業委員会会長さんからは すずしろの学校給食への取り組みの紹介をいただきました。ご期待に添いたいところです。



<発行 会報紙編集会>

台津 highz_85@cosmos.ocn.ne.jp 飛田 emiko_tobita@ybb.ne.jp 川口 leaf-river-86@nifty.com